CELICA GT-FOUR

フルタイム4WD

セイフティ・ドライブ・ガイド

4輪駆動が優れた走りを生み出します。

常時4輪すべてに駆動力を伝達しながら走るフルタイム4WDは、エンジンが発生するパワーを有効に路面に伝えることができ、優れた走行性能を発揮します。



●詳しい取り扱い方法は取扱書をご覧ください。

TOYOTA

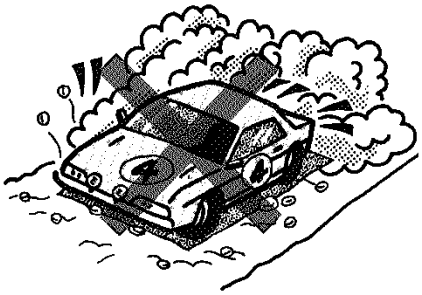
フルタイム4WDで安全・快適なドラ

Point 1 走行について

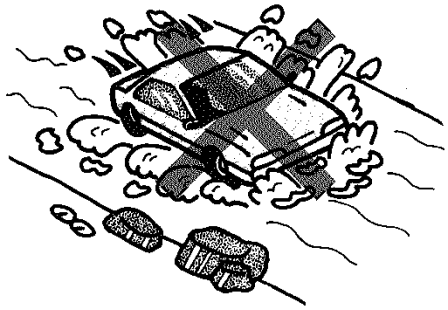
オンロード専用車です。無理な運転は禁物です。

フルタイム4WDといっても万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転に心がけてください。

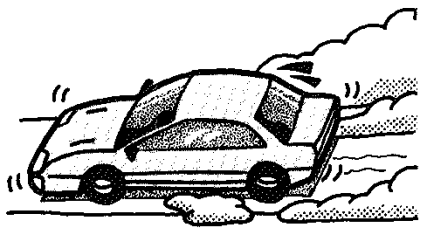
●オフロード走行やラリー走行を目的とした車ではありません。



●渡河などの水中走行はしないでください。

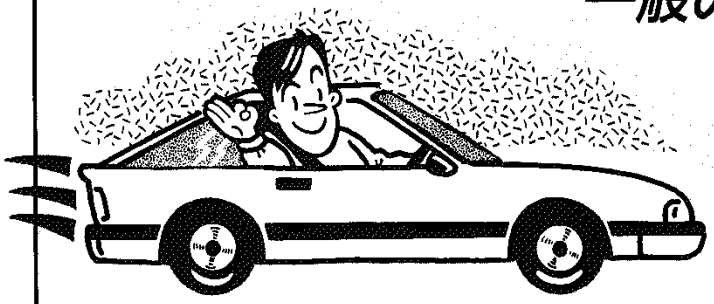


●すべりやすい路面での走行は慎重に。



ビスカスカップリング方式

一般の車と同じ運転でOK!



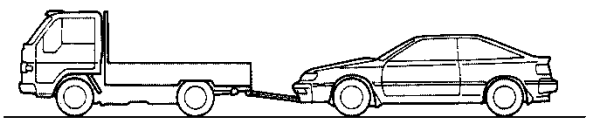
セリカGT-FOURは、センター・デフ差動制限装置にビスカップリングを採用。前後輪の回転差に応じて自動的にセンター・デフの差動を制限し、前後輪の駆動力配分を最適に行うのでフルタイム4WDだからといって特別な操作はいりません。

●けん引してもらうときは　駆動系の故障も考えられますので、ま

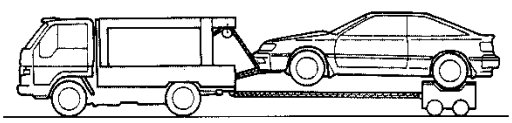
ワンポイント・アドバイス　けん引してもらうときは、次の方法で行ってください。

けん引の方法 ※いずれの場合も、シフト・レバーはNにしてください。

●ロープによるけん引



●4輪を持ち上げたけん引



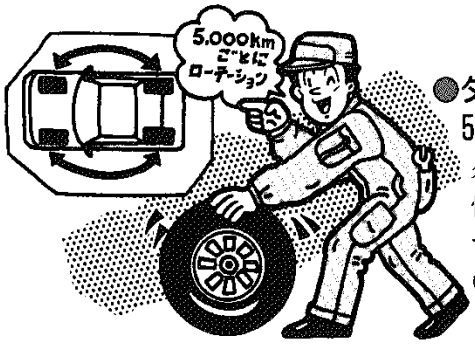
無断複製禁止

ブを楽しむためのCheck Point

Point 2 タイヤについて

4WDだからこそ、タイヤの状態には細心の注意を。

フルタイム4WDは、4つのタイヤに常に駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤのチェックは忘れずに行ってください。



●タイヤのローテーションは5000kmごとに行ってください。

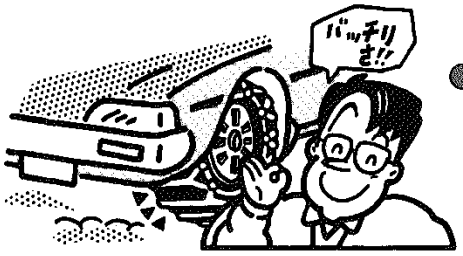
タイヤ間での摩耗差があると車の性能が十分に発揮できませんので、必ずローテーションしてください。

●4輪とも指定サイズ・同一種類のタイヤを装着してください。

タイヤやディスク・ホイールを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。



●タイヤ・チェーンは必ず前輪につけてください。



●タイヤの空気圧の点検も定期的に行ってください。

雪道や凍結路で応急用タイヤを使用するとき

●前輪に応急用タイヤを使用しないでください。



前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪に装着してください。

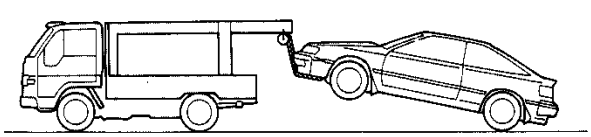
●応急用タイヤにはタイヤ・チェーンをつけないでください。



※応急用タイヤはタイヤがパンクしたとき、一時的に使用するタイヤです。なるべく早く標準タイヤにもどしてください。

ヨタ販売店へご連絡ください。

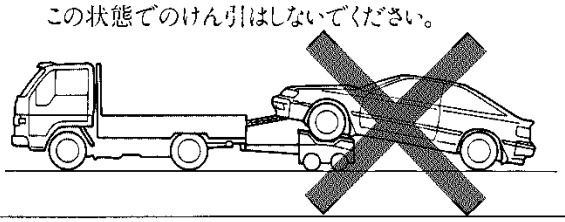
●2輪を持ち上げたけん引で持ち上げたタイヤが回転する場合



してはいけないけん引方法

●2輪を持ち上げたけん引で持ち上げたタイヤが回転しない場合

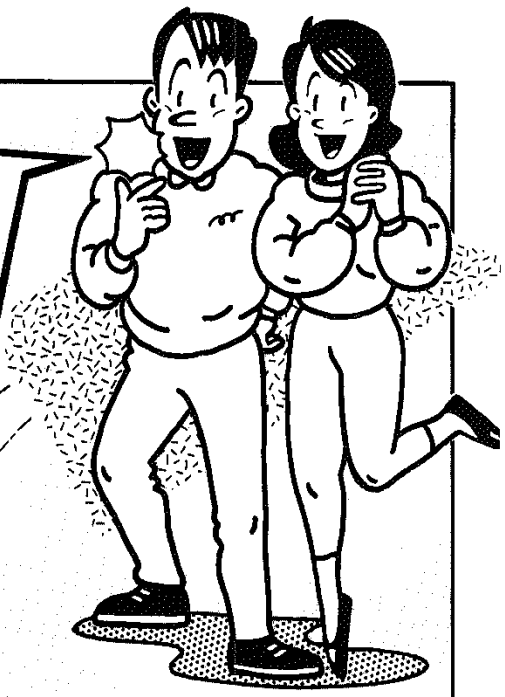
この状態でのけん引はしないでください。



無断複製禁止

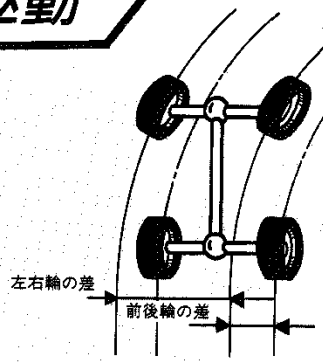
フルタイム4WD
ワンポイント・インフォメーション

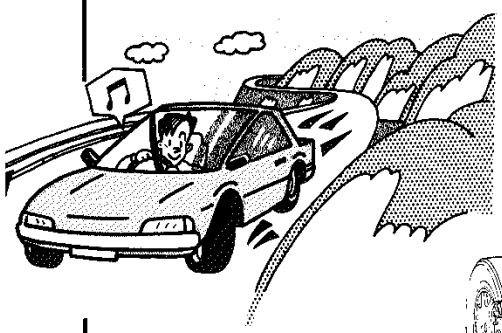
センター・デフ装着で“いつでもどこでも4輪駆動”



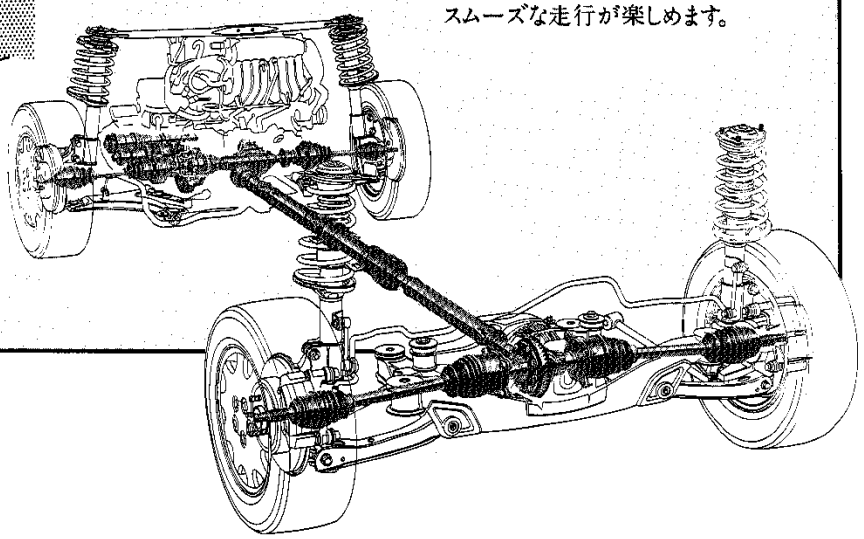
2WD車がカーブを曲がるときなど、左右のタイヤには回転差が生じるため、駆動軸には駆動力をタイヤに伝えるとともに、回転差を吸収する差動装置(デフ)があります。

4WD車は前後も駆動軸でつながっています。パートタイム4WD車でこの駆動軸を直結にしてカーブを曲がると前後の回転差を吸収できず、タイヤに無理な力がかかり、ブレーキがかかったような状態(タイト・コーナー・ブレーキング現象)になります。スムーズに曲がるためには2WDに切り替える必要があります。





フルタイム4WD車では前後の回転差を吸収する差動装置(センター・デフ)があるので、めんどうな切り替え操作もなく、いつでもどこでも4WDでスムーズな走行が楽しめます。



お問い合わせ、ご相談は右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
●名古屋(本部) 052(952)3333
●札幌 011(852)3333　●大阪 06(252)2255
●仙台 022(267)3333　●広島 082(231)5333
●東京 03(817)7333　●福岡 092(938)3333
本部所在地　〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　NA－昭和62年10月5日　●発行－昭和62年10月9日(非売品)

M20061
01999－20061
無断複製禁止